

氏名	柳 生 康 徳
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 5 3 号
学位授与の日付	昭和48年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Use of ultrasound in detecting optimum position of distal end of ventriculoatrial shunt in relation to tricuspid (脳室心房吻合術における三尖弁に関連した心房側チューブ 先端位置決定に対する超音波の応用)
論文審査委員	教授 砂田輝武 教授 田中早苗 教授 中山 沃

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳室心房吻合術は水頭症に対する最も普遍的手術の1つとなっているが、心房側チューブ先端の位置決定法にはまだ問題がある。

チューブ先端は三尖弁にできるだけ近く、しかも弁に当たらない位置が最適であるが、従来の方は三尖弁の位置と直接関係のない決定法である。そこで著者は三尖弁の位置を超音波で確かめ、弁からの距離を計測してチューブ先端の位置を決定することが最良と考え、その目的のために、特殊な超音波触子を考案した。これを持ちいてまず動物実験で三尖弁エコーがえられることを確かめ、次いで22例の臨床例に応用した。三尖弁エコーは拍動性で約1 cmの巾をもって移動する特徴的なパターンを示した。従来もちいられてきたレ線法、心内心電図法を本法と比較検討してみると、前者はいつでも三尖弁からの距離という点ではばらつきがあり、超音波法がより有用であった。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、水頭症に対する脳室心房吻合術における超音波法応用について研究したものであるが、従来十分確立されていなかった心房側チューブ先端の至適位置の決定法について重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。